



## バトンは渡された



3月の卒業式で読まれた「答辞」を紹介します。卒業式への在校生の参加ができなかったため、学年だよりの紹介となります。最高学年として港南中学校を託された皆さんが、先輩方の気持ちをどう受け止めていくか、じっくり読んで一人ひとり考えてみてください。

### 「答辞」

厳しい冬の寒さも和らぎ、街の桜のつぼみは、今にも開こうとしています。

本日は私たち卒業生のために、保護者の皆様、教職員の方々のご出席のもと、このような卒業式を挙行していただき、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

三年前、少し大きく感じる標準服に身を包み、中学校生活への期待と不安の入り混じる気持ちで入学をしました。しかし今日、港南中学校の門をくぐるのも最後になりました。今日が最後の登校だと考えると、歩きなれた通学路もすっかり小さくなった標準服も、少し寂しく、感慨深くなります。三年間、港南中学校で過ごした日々は、心の中に光り輝くものとして刻まれています。

改めて振り返ってみると、この三年間の思い出が次々に浮かんできます。入学した四月は、新しい同級生や環境になじもうと精一杯だった姿が思い出されます。五月、初めての行事である運動会。学年種目のいかだ流しでは、土台となる人たちの背中を平らにするため、できるだけ身長が同じくらいの人を近くに並べるように工夫しました。全員リレーでは、メンバーの組み合わせをみんなで考え、バトンパスの練習に力を入れました。練習を重ねるごとにクラスの団結力が高まり、本番では白熱した戦いとなりました。また、当時の三年生の組体操、二年生の大縄に圧倒され、先輩への憧れを強く抱いたことを憶えています。六月の野辺山移動教室では、運動会で高めた団結力が、プロジェクトアドベンチャー、星空学習、ジェスチャーゲーム、じゃんけん列車などの楽しい企画を通して、更に強いものになりました。また、バーベキューや牧場見学などの貴重な体験もすることができました。特にジャージー牛乳のソフトクリームのあの甘い味は忘れられません。思い出深い充実した四日間であったと思います。十月の合唱コンクールでは音楽の授業で教わった、上に向かって声を出すことや、お腹から声を出すことを意識して、一人ひとりが全力で取り組みました。そして本番では、三クラスとも素晴らしい歌声が出て、先生方から声が出る学年だといっていたいただき、とても嬉しかったことを憶えています。

二年生になり、初めての後輩ができました。部活動や学習面で後輩の手本となれるよう心掛けました。七月の尾瀬夏季学園。広大な自然に囲まれながら歩いた木道や、夜のホタル観賞。普段は見ることのできない風景に魅了されました。また、キャンプファイヤーやブルーベリー狩りなどを通して、自分たちの団結力がより一層高まりました。あの楽しかった四日間は、今も鮮明に脳裏に焼き付いています。そして九月になり、部長や委員会など、学校の中心となる役職を先輩から引き継ぎました。その後、三月の卒業式。先輩方が涙ながらに卒業していく姿を見て、来年は自分たちが最高学年としてこの学校を引っ張っていくのだという強い意志を固めました。

最高学年である三年生になり、すべての行事が最後になる寂しさを感じるのと同時に、それらに全力で取り組みようと決意を新たにしました。

最後の運動会。学年種目であるムカデ競争では試行錯誤の連続でした。最初は一步踏み出すことも困難でしたが、大きな掛け声で心をつにし、息を合わせられるようになりました。また、港南中学校の伝統であるソーラン節は、応援団が中心となって後輩に指導をし、ともに汗を流し、練習を重ね、本番では一糸乱れぬソーラン節を披露することができ、達成感で胸がいっぱいになりました。そして十月の修学旅行。一日目は、法隆寺や大仏で有名な奈良を訪れました。二日目と三日目は、班ごとに京都の名所を巡り、日本の歴史的な建造物や文化に触れました。また、二日目の夜は舞妓さんに実際に会い、雅楽を聴くという貴重な体験をすることが出来ました。「学ぼう伝統文化 創ろう Good memories」というスローガンに沿った、充実した三日間となりました。

最後の学芸発表会では、金賞を目標に掲げ、それぞれのクラスが一生懸命に練習に励みました。パート別に分かれ、お互いにアドバイスをしたことで美しい歌声にまとまっていきました。本番での緊張感の中で、練習以上の成果を発揮し、最高の合唱コンクールとなりました。

進路決定の時期には、後輩からの温かいメッセージが背中を後押ししてくれました。不安を感じる辛い期間でしたが、自分自身の将来について真剣に考える良い機会にもなりました。私たちが港南中学校に通った三年間は、多くの思い出が詰まっています。一つ一つの思い出が、かけがえのない宝物です。たくさんの経験を通して、成長することができました。そしてその傍らには仲間がいました。

校長先生をはじめ、港南中学校の先生方は、私たちのために優しく、時に厳しく指導してくださいました。校舎を清潔に保ってくださった主事さん方、おいしい給食を作ってくくださった栄養士の先生や調理の方々、そして事務職員の方々、私たちを陰で支えてくださりありがとうございました。また、私たちに愛情を注いでくれた家族、心配ばかりかけてきましたが、今日で九年間の義務教育を終え、それぞれの夢に向かって歩いていきます。これからも、大人になっていく私たちを見守っててください。

そして在校生の皆さん。一緒に思い出を作ってくれてありがとうございました。これからの港南中学校での生活が、よりよいものになることを願い、バトンを渡します。

私たちは今、港南中学校での学びを土台に、未来に向けての一步を踏み出します。本当に、三年間お世話になりました。

最後に港南中学校の今後の発展を心よりお祈りし、答辞の言葉とさせていただきます。

令和2年3月19日

卒業生代表

## <生徒の皆さんへ>

臨時休業が続いています。元気に過ごしていますか。学校のHPには学年だよりや休業中の課題が載せられています。来週も国・社・数・理・英の課題が用意されています。計画的に取り組んでください。また、これ以外にも教育委員会で希望者にインターネット教材の提供を行っています。保護者からメールで申し込む形になりますので、興味のある人は問い合わせてください。

